

佐世保まちなか共同プロモーション・共同販促事業

事業実施主体：させば四ヶ町商店街協同組合
西海市場協同組合
事業実施箇所：長崎県佐世保市
商店街店舗数：計162店舗

- 佐世保市中心市街地は、老舗店や大型商業施設などが軒を連ね、幅広く商業サービスを提供する一方で、ECサイトや郊外大型店舗により求心力が低下。空き店舗が増加し、商店街を担う人材不足も大きな課題となっている。
- 中心市街地6団体で構成する「SASEBOまち元気協議会」として連携し、各商店街・商業施設の現状や課題を踏まえた上で、佐世保市民をターゲットに共同プロモーションを実施していく。

背景・課題

- ✓ 大型店舗等の進出の影響で来街者の減少、消費の低迷により空き店舗が増加し、商店街の後継者不足も課題となっている。
- ✓ まちなかの価値を再認識してもらい、購買層を増やしていくことを目的に商店街・商業施設が連携した共同販促事業を実施することで、今後の集客に繋げていきたい。
- ✓ 商店街特有の魅力として、『何を買うかではなく、誰から買うか』という視点が重要と考え、お店独自の専門性やこだわりを伝える必要がある。

取組内容

- ✓ 6つの商業団体が団結して『一店逸品コンテスト』を開催。各団体より39店舗を選出し、店主のこだわりが詰まった自慢の逸品を紹介。
- ✓ 逸品はカタログやHPで紹介したほか、各種メディアに掲載しコンテスト開催の情報を発信。
- ✓ オンラインで全国から投票を受け付け、コンテストに投票してくれた人の中から抽選で50名に豪華地域産品をプレゼント。

見込まれる効果等

- ✓ 中心市街地6団体「SASEBOまち元気協議会」の商店街・商業施設の魅力・回遊性向上。
- ✓ 6団体参加による大規模イベントによって、商店街や地域の認知度向上。
- ✓ 商店街の枠を超えて「一店逸品カタログ」を作成、オンライン投票を呼びかけることで、各団体が持つ顧客層への訴求。



←イベントのようす



「一店逸品カタログ」→